

5年生 「稲作」

5年生（男子13名、女子15名、計28名）は、年間を通じて「稲作」に取り組みました。学級通信及び町広報誌に掲載されたものを以下に記します。

米づくり スタート

6月2日（金）にもち米の種まきを行いました。

4人グループごとに、ケースに土を平らに入れ、種を均等になるように蒔き、たっぷりと水かけをしました。

芽がある程度出てからは、毎日水をかけないと大きく育ちません。田植えに向けて大切にお世話をしていきたいと思います。

6月16日（金）は、田んぼの代掻きを兼ねて、どろんこ遊びを行います。泥だらけになりますので、下記の準備が必要です。

特にゴーグルは必ず着用しますので忘れずに持たせてください。

また、再来週22日（木）の14時から田植えを行います（小雨決行、予備日：23日）。保護者の方にもお手伝いいただけると大変ありがたいです。もしお手伝いいただけるところがありましたら、自学ノートの連絡欄にてお知らせください。



米作りの大変さを学ぶ!

6月23日（金）にJAの青壮年部と女性部のみなさまのご協力のもと、田植えを行いました。

手作業での田植えは忍耐力が必要なので、どれくらいの時間がかかるか正直心配していましたが、心配をよそに子どもたちは笑顔で田植えを進め、例年よりもとても速い時間で田植えが終わりました！中には職人（？）のような手つきで素早く植えてしまう子も現れ、



JAの方も驚いていました。

子どもたちの感想からは「手や腰がとても痛かったけど頑張りました！」「田植えがとても大変なことが分かりました。けどとても楽しかったです。」という声が聞かれ、米ができるまではたくさんの苦労があることに気付くことができたようです。

田植えが終わった後には、女性部の皆さんに準備していただいたおにぎりや唐揚げを食べ、大満足の子もたちでした。

これから草取りなどを行い、11月頃稲刈りの予定です。どれくらい収穫できるか楽しみです！



湯前小5年生どろんこ遊び・田植え

田んぼの教室 に笑顔



湯前小学校5年生のイモ植えとどろんこ遊びは6月16日、同校グラウンド近くの田んぼと畑であり、児童28人が全身どろだらけになりながら、田んぼの土を柔らかくしていました。

田植えの準備として、児童に楽しみながら土をかきながらほしいと球磨地域農業協同組合（JA）青壮年部湯前支部の協力で毎年行われています。児童たちはイモの植え方を聞き、「紅はるか」の苗を200本植えたあと、田んぼに移動。

最初は田んぼに足をつけるのをためらっていましたが、



一度入ると、ためらいがうすかのようにおはしやぎ。田んぼの端から端まで広く使って、おにごっこやかけっこをし、水しぶきを上げながら泥の感触を楽しんでいました。

同23日には田植えが行われ、児童は横一列になって、青壮年部員と一緒に稲を植えていきました。秋には稲刈りも行われる予定です。

広報「ゆのまえ」8月号

脱穀体験頑張りました!

10月31日（火）に脱穀体験がありました。

先々週に竿がけしていた苗を、足踏み脱穀機を使って昔ながらの方法で脱穀しました。

子どもたちからは「意外と力がある!」という声が聞かれましたが、だんだんリズムよく踏み込むことができるようになりました。



収穫米は、11月12日（日）の湯前町漫画フェスタや5学年行事のもちつき（12月9日に実施予定）で使われます。